

しろうまだいせっけいゆうほどう
コース24 白馬大雪渓遊歩道

リーダー CL T/K SL S/K
 実施日 平成30年7月15日(日) 天候 晴
 参加者 25 (男性 7 女性 18)
 グレード B
 コースポイント



キヌガサソウ

ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川東口		5:55	新津駅西口、区役所前、新津西Ⅰ. C
米山SA	7:30	7:45	休憩
道の駅「おたり」	9:05	9:20	休憩、糸魚川Ⅰ. C
猿倉登山口	10:05	10:20	登山準備 登山開始
白馬尻小屋	11:40	12:10	昼食 記念撮影
大雪渓	12:30	13:10	アイゼン装着歩行体験
白馬尻小屋	13:30	13:40	下山準備 下山開始 記念撮影
猿倉登山口	14:40	15:10	登山終了 糸魚川Ⅰ. C
米山SA	17:55	18:05	休憩
荻川東口	19:40		新津駅西Ⅰ. C 区役所前 新津駅西口

山行等概要(幹事のコメント)

- 予定の時間に出発。米山SAに立ち寄り、糸魚川Ⅰ. C流出してR148号に出て白馬方面へと向かう。白馬村に入ると車窓から見える山々に少し雲がかかっているのが心配。白馬駅前に到着。信号待ちしていると、目の前の白馬駅発の午前9時40分の猿倉行きのバスが通過。ここで運良くバスの後につくことができたので、猿倉には問題なく行くことができるので一安心。白馬から猿倉までの県道322号線は道幅が狭く、路線バスが優先で普通車両以外は猿倉バスが猿倉へ向かう際は、山から下りる車両は進入禁止で、逆にバスが白馬駅に向かう際は山へ上がる車両が進入禁止となるので、走行する際は注意が必要。
- 猿倉登山口より予定の時間に出発。歩き始めると猿倉山荘の管理人から登山届けの提出、アイゼンの確認を求められたが、登山届けは提出済み、アイゼンは持参。白馬尻及び大雪渓まで、日帰りのことを伝え目的地の白馬尻へと向う。炎天下で厳しい山歩きでしたが、全員白馬尻に到着。
- 昼食時間を少なめに取り、大雪渓



白馬尻 1560m

の入口へと向かう。雪渓入口には 10 分少々で到着。各人アイゼンを装着し、30 分ほど大雪渓での散策を楽しむ。昨年下見を兼ねて来た際はもっと雪渓が下まであったのに、今年は雪渓は大分上の方にある。また気温が高いのか、昨年今頃咲いていたサンカヨウの花はほとんど終わり、残念。雪渓での散策を楽しんだ後は白馬尻に戻る。昼食時間を含んで 2 時間ほどの滞在、天気がよく最高でした。

- 少し早め下山。相変わらずの炎天下で暑く、猿倉登山口には予定時間に到着。これで 15 時 10 分発の白馬駅行きバスの後から付いて下りることができるので心配なし。
- 予定通り 15 時 10 分発のバスの後に付いて出発、新潟へと向かう。途中コンビニに立ち寄り、R148 号線に出ると上り（松本方面）は渋滞、下り（糸魚川方面）は渋滞の心配なし。おかげさまで糸魚川 I.C. には予定の時間に流入、米山 SA に立ち寄り終着地には予定より 20 分早く到着。
- 炎天下で大変でしたが、事故なく無事山行ができましたことお礼申し上げます。参加された皆様、サブリーダー、班長、会計の皆様、ご協力ありがとうございました。



大雪渓散策のためアイゼン装着



皆さん大雪渓散策

「白馬大雪渓遊歩道」に参加して

(1665) A/S

今年度の総会資料のハイキング・登山計画を見たときから、絶対行ってみたい所の一つが「白馬大雪渓遊歩道」でした。

連日ニュースで「酷暑」「危険な暑さ」と報道されていましたが、「白馬大雪渓遊歩道」山行の日も朝からとても暑い日でした。

予定通りの時刻に白馬岳登山口の標高 1250m の猿倉荘に到着しました。屋根越しに山がくっきりと見えました。靴を履き替えて標高 1560m の白馬尻小屋を目指します。

途中までは林道を進みました。林道は整備されていて歩きやすかったのですが、この標高でも「酷暑」でふきだす汗を拭きながら進みました。細い木橋が増水している林道に架けられていました。水の流れが心地よかったです。目の前には白馬岳が迫ってきました。



タマガワホトトギス

後半から沢沿いの登山道に入りました。サンカヨウやキヌガサソウは実を付けたものが

多く、残念だけど今年は花はもう終わっているのかもしれないと思いました。白や黄色の花が咲いていて、名前を聞きながら進みました。

「おつかれさん！ようこそ大雪溪へ」と書かれている大きな一枚岩に着きました。白馬尻小屋に到着です。大雪溪が目の前に現れ、雪溪から流れ落ちる水がごつごつとした岩の間を勢いよく流れていました。目の前に広がる山の景色は、今までの暑さを忘れさせてくれるようでした。

小屋の前で昼食を食べ、アイゼンを持って大雪溪に向かって出発しました。今までの道では実になっているのが多かったサンカヨウやキヌガサソウがきれいな白い花を咲かせていました。30分ほど歩き大雪溪に着きました。

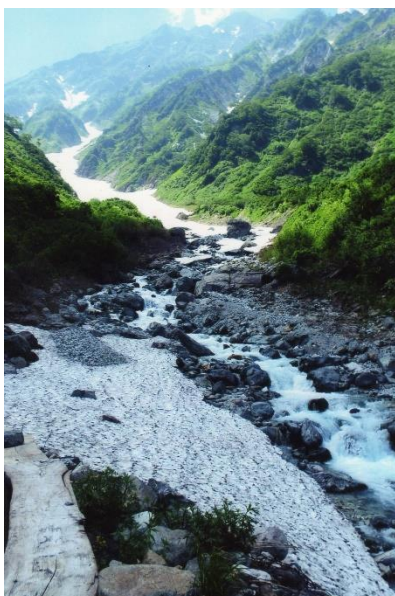
雪溪に一步足を踏み出しました。

慣れないアイゼンを着けているので、恐る恐る雪溪の上を歩きました。鶯の鳴く声が聞こえました。ひんやりとした風が心地よく、真夏から一気に季節が逆戻りしたような不思議な感覚がしました。暑さの中を歩いた疲れが一気に吹き飛びました。青空に白馬岳の美しい姿がそびえていました。いつか（いつの日になるか分かりませんが）この大雪溪を登り切って白馬岳の頂上に立ってみたいと思いました。

大雪溪の上を歩くという初めての体験はとても楽しかったです。この山行を計画してくださったリーダーさん、そして一緒に参加した皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。思い出に残るとても素晴らしい一日でした。



白馬尻小屋 1560m



白馬尻から大雪溪を望む



白馬大雪溪